



要望を県政に反映

腎臓病患者団体と懇談会

知 愛
団 議
県 党

公明党愛知県議団(渡会克明団長)はこのほど、県庁内で愛知県腎臓病協議会の小野田桂三代表理事らと懇談し、県政に対する要望を受けた。

↑
愛知県腎臓病協議会から要望を受ける党愛知県議団(左側6人)

この中で小野田代表理事らは、大規模災害が発生した際、ライフラインの停止や道路の交通規制などにより透析者の通院が困難になると述べ、早期に人工透析が再開できるような環境を整えてほしいと主張。特に①県内や県外の透析施設までの

患者の移送②水や重油など透析施設での治療に必要なライフラインの早期復旧——などを要望した。

このほか、透析患者に対する現行の医療費給付の維持や、デマンド型交通による高齢の透析患者のための通院支援なども求めた。

これに対し、渡会団長は、各市町村とも連携し、取り組んでいくと答えた。